

みどりの祭典2025に参加しました

10月19日（日）さいたましみどりの祭典2025に参加しました。

この祭典は、「みどりに親しみ、みどりから学び、みどりを守り育てましょう！」をスローガンに、展示や体験を通して、みどりに関する意識高揚をはかり、緑豊かなまちづくりの推進を目的として、開催されるものです。各団体は、趣向を凝らし、人間の五感を活用した企画を実行されていました。

「見る」は展示・活動紹介、「聴く」は音楽など、「体験する」は高所作業車、ヨガ、「作る」は草木グッズ・工作、「育てる」はどんぐりの里親が挙げられます。



本会のブースにも多くの方が訪ねてこられ、たいへん盛況でした。

「どんぐりの里親になろう」コーナーでは、昨年お渡ししたどんぐりから成長した幼木を持参していただきました。多くの方に感謝申し上げます。緑地の必要な個所に植えさせていただきます。最近では、南中丸緑地や大牧緑地に植えさせていただきました。「草木グッズ」コーナー

は、ぶんぶん、バッタづくりなどがありました。いずれも盛況で、長い列ができました。皆様、一生懸命、作品を製作されていました。

右の写真は、長澤会長の開会あいさつ、佐藤氏の団体紹介風景です。



秋の竹林保全活動を行いました

10月8・9日、11月5・6日延べ4日間で、中尾自然緑地及び西新井ふるさとの森で、秋の竹林保全活動を行いました。美しい景観がいつまでも続くよう、これからも、活動を続けたいと思います。よろしくお願いたします。



大和田緑地で恒例の稲刈り・脱穀を行いました

10月16日稲刈り、10月30日脱穀を行いました。

両日とも会員約10名が汗を流しました。脱穀作業の日は近隣の保育園の皆さんも見学に見えられ、珍しそうに見ていらっしゃいました。



芝浦工大生の企画「緑地ハンター」が紅葉の森で実施されました

11月24日、春里自然の森において小学生及び関係のご父兄その他約30名の近隣住民が集まり、今までに全く例のない、賑やかな集いが行われました。

自分だけの「発見」をビンゴであつめてみよう!! 遊びながらみどりの大切さを感じよう!! 木の葉やどんぐりを使って、ラミネートアートを作ろう、落ちて小枝からパチンコを作ろう。など盛りだくさんメニューであつという間に終了となってしまいました。芝浦工大の皆様ほんとうにありがとうございました。自然緑地に関わっている皆様方ご協力ありがとうございました。

(市民活動サポートセンター、みどり愛護会春里支部の記事から引用しました)

